



夏季号

令和 5 年 7 月発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 【編集者】浴風会本部事務局
 小原 英嗣



令和 5 年 4 月 26 日 職員実践研究発表会
 (撮影) 松風園長 平井一浩

総合的・一体的な高齢者施策を推進します

杉並区長 岸本 聡子



団塊世代が75歳以上となる二〇二五年問題、そして団塊ジュニア世代が65歳以上となる二〇四〇年問題を見据え、今後とも、杉並区基本構想に掲げた「人生100年時代を自分らしく健やかに生きることが出来るまち」「すべての人が認め合い、支え・支えられるがら共生するまち」の実現に向けて、医療・介護・福祉の充実を図っていくことが重要です。そういう中で、浴風会が、病院や高齢者施設、認知症介護研究・研修東京センターなどを有する一大拠点として発展を続け、地域包括ケアシステムの推進・強化や認知症施策の充実などの区の取組に連携・協働していただいていることに、改めて感謝申し上げます。

この医療・介護・福祉の充実に加え、私は、今後の高齢

者施策は、今の高齢者やこれから高齢者となる方々に対する医療・介護の予防につながる取組とともに、豊かな知識・経験を有する高齢者の社会参加を促進する取組に、より一層力を入れていく必要があると考えております。このような視点に立った総合的・一体的な高齢者施策の展開を図ることで、将来に向けて安心できる医療・介護・福祉サービスの下、多くの元気な高齢者が仕事や地域活動・ボランティア活動などを通して、個性と能力を発揮する、活力ある高齢者社会の姿が見えてくると思います。

そのためには、利用しやすい移動手段、人にやさしい施設・建物づくり、居場所と仲間づくり、スポーツや生涯学習の場の提供、多様な就業のサポートなど、区政全般にわ

たる取組を図ることが必要です。こうした取組は一朝一夕に成し遂げられず、実を結ぶまでには一定の期間を要しますが、高齢者のみならず、すべての人が住み慣れた地域でいきいきと暮らしやすいまちづくりにつながると確信しておりますので、今年度に予定している杉並区総合計画・実行計画等の改定や、(仮称)高齢者施策推進計画の策定を契機に、全庁を挙げて一歩一歩着実に前へ進めて参ります。浴風会におかれましても引き続き専門的な立場からのご意見・ご助言をくださいますようお願いいたします。

最後に、浴風会のますますのご発展と寺尾理事長をはじめ、関係者の皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

浴風会病院事務局長に就任して

浴風会病院事務局長

平田 敏昭



四月一日付にて浴風会病院事務局長を拝命しました、平田敏昭と申します。

昨年度は参事として、病院で診療報酬における施設基準や加算の取得など、経営改善を担当しておりました。前職同様、引き続きよろしくお願い致します。

浴風会病院は本年三月、これまでの回復期リハビリテーション病棟五十床、地域包括ケア病棟百床、医療療養病棟百床の計二百五十床から医療療養病棟を五十一床減床し、百九十九床体制へと病棟再編成を行いました。

これは令和四年度の診療報酬改定において、地域包括ケア病棟のあり方や期待される機能が明確化されたため、当院は、国が構築の実現を目指しています。重度の要介護状態になつても住み慣れた環境・地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療・介

護などのサービスが一体的に提供されるしくみである「地域包括ケアシステム」での身近な「かかりつけ医」として推進していくためであり、今後、外来および在宅医療（訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション）をさらに充実させ、近隣の医療機関および介護事業所との連携をより緊密にすることによって、より地域に密着した病院を目指すこととしたものです。

引き続き、地域の皆さんの、外来・入院診療、在宅医療や健診などの「かかりつけ医」として、前職での経営改善の経験を生かしつつ、さらに推進し体力をしつかりと付け、病院の基本方針にあります「患者さんに信頼され、喜ばれる病院」と思っていただけるよう、微力ではございますが、頑張つて参りますので、変わらぬご指導をよろしくお願い致します。

地域包括支援センター長に就任して

地域包括支援センター長

阿部 真弓



3月で定年退職された大川センター長の後任として、4月から地域包括支援センターのセンター長に就任いたしました。主任介護支援専門員としてケア24高井戸に異動して10年目になります。その前は居宅介護支援事業所でケアマネジメント業務に従事しておりました。

ケア24高井戸は杉並区から委託された高齢者の総合相談窓口です。社会福祉士、看護師、主任介護支援専門員が配置されており、それぞれの特性を活かした対応をしております。窓口と電話での相談内容は様々です。一人暮らしの方から「将来が不安で今後どのような準備をしたらよいのか?」、近隣の方から「新聞がたまっている高齢者宅があるのを見に行つて欲しい。」、遠方に住む家族から、「物忘れが出てきた両親が心配だけ

れど頻繁に訪ねていけないのなら良いか?」、警察から、「道で保護した高齢者に関して心当たりはないか?」、要介護の方から、「ケアマネジャーと相性が悪いので違うケアマネジャーを探して欲しい。」、地域のケアマネジャーから「利用者の娘様が認知症の母親を叩いてしまったと言っている」等、多岐にわたつて相談が寄せられます。解決策が見つからなくても、それぞれの関連機関と連携しながら、継続的に支援しております。

住み慣れた場所で暮らし続けるため、地域住民が世代を超えて、我が事として考え、つながることで、地域を共につくっていく地域共生社会を実現できるよう、地域包括支援センターは微力ながら頑張つてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和 4 年度 事業報告 (概要)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の変異株であるオミクロン株は、感染力が強く、会内各施設・病院において猛威を振るった。各施設では年間を通じて次々に集団感染が発生したため、感染拡大防止の観点から新規の施設入所や入院を抑制せざるを得ない状況が続いた。またウクライナ情勢や円安等による影響で、光熱費の高騰や食料品の物価高により財政的に厳しい 1 年となった。

一方、中期事業計画 (令和 2 年度～6 年度) の中間年にあたり、計画の進捗状況を検証しつつ、安定した経営基盤の形成や利用者サービスの向上、働き易い職場づくり等に取り組んだ。

第 1 着実な事業実施のための経営基盤づくり

これらの取組みに当って、業務執行理事等で構成する経営企画会議での審議や、法人本部組織を中心に各事業部門の密接な連携により対処した。

財政の健全化に向け、各事業部門では計画利用率等の達成や経費節減に向けて努力したが、コロナの集団感染や物価高騰等の外的要因による影響を受けたほか、診療報酬改正に伴い地域包括ケア病棟を有する病院の施設基準の厳格化から、病床数の縮小に向けた対応 (入院の抑制) などにより、財政収支は各施設とも厳しいものとなった。

1 病院及び老健くぬぎの経営基盤の安定化

(1) 病院

7 月に立ち上げた経営改善プロジェクトチームを中心に、病院の経営改善に向け鋭意取り組んだところであるが、法人内施設利用者のコロナ感染者受入れや病院職員・患者の発症のため、入院制限を行い、また、診療報酬の改正に対応した病床数の縮小に向け、入院抑制を講ずる必要があり、入院患者数は予算目標を下回る結果となった。

一方、外来患者数は発熱外来患者の増加等により予算目標を上回るとともに、診療報酬単価についても、各種加算の取得やコロナワクチン接種収入等により、入院、外来ともに目標単価を上回った。年間収支については、光熱費の高騰が影響し、若干のマイナスとなった。

(2) 老健くぬぎ

【令和 4 年度 決算報告】

6 月 9 日に開催されました当会理事会及び 6 月 27 日開催の評議員会において、令和 3 年度決算が次のように承認されました。

(1) 貸借対照表の要旨 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

単位: 千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	2,594,254	流動負債	932,059
固定資産	9,816,679	固定負債	3,694,087
		負債の部合計	4,626,146
		基本金	506,033
		国庫補助金等特別積立金	4,388,104
		その他積立金	1,514,342
		次期繰越活動収支差額	1,376,308
		(当期活動収支差額)	(△92,509)
		純資産の部合計	7,784,787
資産の部合計	12,410,933	負債・純資産合計	12,410,933

(2) 総合資金収支計算書 (令和 4 年度)

単位: 千円

区分		収 入 額		支 出 額		収支差額
社会福祉事業	養護 浴風園	523,351		537,127		△ 13,776
	軽費 松風園	350,465		349,842		623
	軽費 ケアハウス	165,389		165,386		3
	老人福祉事業計 (a)	1,039,205	11.5%	1,052,355	11.6%	△ 13,150
	特養 南陽園	1,182,916		1,182,643		273
	特養 第二南陽園	734,950		761,943		△ 26,993
	特養 第三南陽園	1,080,892		1,080,212		680
	南陽園在宅サービスセンター	45,998		47,053		△ 1,055
	第二南陽園在宅サービスセンター	52,209		61,741		△ 9,532
	グループホームひまわり	107,191		107,175		16
	ヘルパーステーション	64,513		66,790		△ 2,277
	介護保険事業計 (b)	3,268,669	36.2%	3,307,557	36.4%	△ 38,888
	浴風会病院	3,151,455		3,153,571		△ 2,116
	老健くぬぎ	714,985		702,037		12,948
公益事業	認知症介護研究研修センター	481,832		481,521		311
	本部経常部	238,514		258,552		△ 20,038
	社会福祉事業合計 (c)	8,894,660	98.4%	8,955,593	98.5%	△ 60,933
	地域包括支援センター	52,323		51,380		943
	居宅介護支援事業所	22,072		23,269		△ 1,197
	よくふう保育園	42,561		43,243		△ 682
	ケアスクール	7,405		7,242		163
	公益事業合計 (d)	124,361	1.4%	125,134	1.4%	△ 773
	収益事業 (e)	18,217	0.2%	14,632	0.2%	3,585
	総 計 (c+d+e)	9,037,238	100.0%	9,095,359	100.0%	△ 58,121

利用率の向上による経営改善に努めたが、5 月と 12 月に新型コロナウイルスの集団感染が発生し入所制限を行ったことで、入所利用率が大幅に悪化した。また通所リハビリテーションも集団感染による利用制限や利用控えの傾向が続き、利用率が伸び悩んだ。但し、介護報酬面では、年間を通じて最も高い介護報酬が適用される「超強化型」を維持できた。

2 法人機能の充実

社会福祉法人制度改革を受けて、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、地域公益事業の積極的な展開等を取り組んだ。また、経営戦略等に関する合議体である経営企画会議や内部監査を担当する監査室

も、所期の目的達成に努めた。

(1) 経営企画会議等による諸課題の検討及び対処方針の決定

経営企画会議、幹部連絡会議、部課長連絡会議等の諸会議を通じて、経営方針等に関する意思疎通を図った。また、事業本部 (保健衛生業務調整、栄養業務調整、相談業務調整、リハビリテーション業務調整) の取組みにより、職種別に当該業務に関する連絡調整を図り、業務の円滑化、リスク管理に努めるなどして、現場第一線の業務向上に努めた。

(2) 広報活動・情報公開の推進

ホームページの活用を通じて、各事業の活動状況や事業報告、財務諸表等の情報を迅速、かつ適切に発信することができた。併せて、浴風会誌や各施設・病院が発行する広報誌を通じて、広報・情報公開の徹底を図った。

(3) 検討会の設置

今後の在宅支援サービスの進め方等を検討するため「在宅支援サービス検討委員会」を設置し、検討を始めた。また令和 7 年に迎える創立 100 周年記念事業の実施に向け「記念事業企画委員会」を設置し企画検討を開始した。

3 認知症介護の研究・研修の充実

認知症介護研究・研修東京センターでは、認知症介護施策の課題解決や基盤整備のための研究事業として、12 課題の研究を実施した。また、研修事業は、認知症介護指導者養成

研修及びフォローアップ研修を各 2 回、認知症地域支援推進員の新任者研修を 8 回、同現任者研修を 6 回実施した。

第 2 利用者中心のサービスの提供

昨年度に引き続いて、新型コロナウイルス感染症予防のため、利用者に対する手洗い・手指消毒の励行、外出の自粛、マスクの着用等を徹底するほか、密閉・密集・密接のいわゆる三密の防止に配慮した。

他、介護保険事業においては、サービスマナーの向上、看取り介護の推進と医療連携ケアの向上、リスクマネジメントの徹底、口腔機能維持・経口摂取維持の推進等を図った。

老人福祉事業においては、個別支援サービス計画に基づく支援を実施するとともに、利用者の要望への的確な対応等に努めた。

病院事業においては、医療安全、感染症対策、防災対策等の安全管理を適確に推進し、また、医療相談・支援、地域連携、在宅支援を積極的に進めた。

その他、利用者・患者等からのサービスに係る苦情については、各々事業部門の苦情解決責任者が迅速かつ適切な対応に努めた。

第 3 専門職の連携を活かした職場づくり

1 法人の特長を活かした人材確保の実施

社会福祉士、介護福祉士等の養成を行う全国の大学、専門学校、高校に対して、パンフレット、求人票等を送付するとともに、実習生受入実績校へは訪問して学生紹介の依頼を行った。また、求人チラシを作成し、近隣への戸別配布及び新聞折り込み配布を新たに実施したほか、ケアスクール資格研修修了者へのアプローチを強化し、採用に結び付けた。更に、ホームページ求人サイトからの採用募集や人材派遣会社の活用など継続的に採用活動を実施した。なお、職員採用の一元化を図るため、本部に人材確保担当参事を配置した。

2 働き方改革への的確な対応

優れた人材の確保と勤労意欲の向上を目的として行う登用試験（主として介護職契約職員の正規職員化）について、必要な免許・資

格を所持している者を対象に、2 回実施した。また、職員の健康保持のため、労働時間管理の徹底及び有給休暇取得の促進を行うよう、幹部連絡会等を通じ周知徹底を図った。

3 職員研修の充実

職員研修については、全職種を対象とした職種横断階層別「悉皆研修」(ステップ 1～5)を全課程実施した。「全体研修」は、近年社会問題化している「カスタマーハラスメント」を題材に講師を招聘して実施した。コロナ禍により中止していた「職員実践」研究発表会は令和 4 年 4 月に開催した。(演目 7 題)

4 労働安全衛生の推進

職員の定期健康診断を実施する他、看護・介護スタッフの腰痛予防対策の実施、ストレスチェックによる高ストレス者への対応を図るなど、職場における職員の労働安全衛生の推進を図った。

5 障害者雇用、外国人雇用の推進

障害者雇用については、幹部連絡会議等においてその趣旨及び浴風会の現状を説明し、法定雇用率の達成に努めた。その結果、4 年度は法定雇用率を上回る結果となった。外国人雇用については、関係団体とも調整して進めた結果、4 年度末現在ミャンマー連邦共和国より 6 名、ベトナム社会主義共和国より 1 名を受入れ、南陽園等の介護老人福祉施設で実習勤務を行っている。

第 4 地域との協働と社会貢献

地域貢献活動については、従来、浴風会の各事業部門の経験や資源を活かし、地域とのネットワークなどを通じて、様々な行事やイベントを実施してきたところであるが、4 年度もコロナ禍の影響により、多くの活動を自粛せざるを得なかった。その中で、認知症介護研究・研修センターを会場にして「浴風会つながるフェスタ」を 3 年ぶりに対面開催した。また、浴風会病院においては、地域住民に対するコロナワクチンの接種や回復期コロナ感染患者の受け入れなど、地域医療の貢献に努めた。

大友英一先生の思い出話

浴風会病院名誉院長

吉田 亮一

本年 3 月大友英一先生の奥様よりお葉書を頂き、先生が昨年 12 月 20 日に他界された事を知りました。吉田は昭和 54 年の入職以後、平成 21 年に大友英一先生より院長を引き継ぐまでの 31 年間、診療、研究、病院運営、さらに種々の学会参加や運営など、ご一緒させていただき、紙面では書き切れない程に多くの思い出があります。そのうちのいくつかをご紹介します。

入職初日、午前 8 時半。自分としてはかなり早く病棟へ向かったつもりでしたが、先生はすで病棟全員の患者さんの診察を終了しており、「吉田君は初日なので、まずは A さんと B さんの神経学的所見をお願いします」と言われ慌てて病室へ行き、その後勤務室で診察結果について話し合い、病的反射にはその出し方にコツがあると教わった懐かしい記憶があります。またその時に知ったのですが、先生は常に午前 6 時には病院へ出勤し、デスクワークを済ませた後に、診療を開始していたということです。この生活スタイルは、東京大学医学部附属病院冲中内科入局以来、浴風会病院を退職するまでの実に 57 年間継続して行われており、深く感銘を受けた事柄の一つです。

何しろ原稿や論文を書き上げる、診察をするスピードは、目を見張る早さです。「吉田君 全然急ぎませんから明後日の夕方に、その資料をお願いします」と言われることがあり、通常急がないと言わ

れば一週間位の猶予かと思われすが、先生の感覚で明後日というのは、かなりの余裕だと言うことです。また病棟回診は約 50 人の患者さんを 30 分程度で行うため、主治医は言われたことを記載するのに四苦八苦しました。

平成 5 年の第 18 回日本脳卒中学会の学会会長になり、幕張メッセにて成功させております。医学学会会長は準備や大会運営に多くの人材が必要のため、通常、大学の教授が教室単位で持ち回りますが、プログラムの作成やら懇親会、シンポジウムの内容や座長などの人選等を「吉田君。これは良い経験になりますし、各方面の人々とお仕事する良い機会なので引き受けます」と言われ、先生と二人で一人三役程の役割をこなし、やればできるを実感させられた事柄です。

もうあの「吉田君、」が聞かれなくて寂しい思いですが、安らかな眠りにつかれますよう、お祈り致します。

大友英一先生略歴

昭和 3 年 10 月 14 日 秋田市生まれ
昭和 28 年 3 月 東京大学医学部医学科卒業
昭和 29 年 6 月 東京大学医学部附属病院冲中内科入局
昭和 32 年 6 月 米国メリーランド大学神経内科留学(リサーチフェロー)
昭和 34 年 7 月 冲中内科に帰局
昭和 35 年 4 月 社会福祉法人浴風会病院
昭和 37 年 8 月 同病院内科医長
昭和 47 年 4 月 同病院院長
昭和 58 年 3 月、平成 21 年 5 月 同院長
昭和 47 年 7 月、51 年 8 月 宮内庁東宮侍医
昭和 55 年 4 月、59 年 7 月 東京大学非常勤講師
昭和 44 年 10 月、平成 6 年 3 月 東京女子医科大学内科非常勤講師
【学会会長歴】日本脳卒中学会(平成 5 年)
【受賞】藍綬褒章(平成 6 年)
勲三等瑞宝章(平成 14 年)

浴風会の動き

(4月～5月)

【本部事務局】

4月

1日 採用辞令交付式(17名)

17日 杉並区みどり公園課来会

26日 職員実践・研究発表会開催

29日 天理教杉並支部構内美化(草

取り)協力

5月

1日 採用辞令交付(1名)

2日 富士見ヶ丘小学校 写生会

26日 苦情解決委員会(定例報告会)

開催

6月

1日 採用等辞令交付(1名)

2日 監事による監査実施

9日 第1回理事会開催。「令和

4年度事業報告」、「令和4年度決算」、

「幹部職員の人事」について、「会長の

選任」について等承認

27日 定時評議委員会開催。「令和

4年度決算」および「任期満了に伴う

役員の改選」について承認。「令和4

年度事業報告」、「評議員の選任」、「幹

部職員の人事」について報告

同日 第2回理事会開催「理事長

の選定」ならびに「業務執行理事の選

任」について承認

(大谷)

浴風会ケアスクール

4月

1日「介護福祉士実務者研修18期生」開講(受講生18名)

3～4日「悉皆研修・ステップ

1」(職員新任研修)

26日「第18回職員実践・研究発表

会」開催

5月

31日「悉皆研修・ステップ3」

(職員2年目研修)

6月

7日「悉皆研修・ステップ3」

(職員2年目研修)

28日「悉皆研修・ステップ4」

(職員中堅1期)

(鈴木)

【お知らせ】

令和5年度、介護の資格講座「介

護職員初任者研修」(8月1日開講・

火曜日コース、11月6日開講・月曜

日コース)申込みを付けておりま

す。介護の基礎からしっかりと学べ

る講座です。詳細はホームページ「浴

風会ケアスクールのお知らせ」から

もご覧いただけます。お気軽にお問

合してください。(お知らせはこちら)

<https://www.yokufukukai.or.jp/information/care-school/>

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

4月

5日 お花見会。昼食になだ万のお弁当を頂きました。食堂内に桜の飾りや、ご利用者が作制した塗り絵を飾り華やかでした。

26日 職員実践・研究発表会。浴風

園は『楽しく入浴していただく為の工夫』と題し、日々の支援の成果を発表

しました。今後もより良い支援に努め

て参ります。

5月

5日 端午の節句。玄関入口部に、

厳かな鎧兜を飾り菖蒲の湯に浸かり、

無病で健康をお祈りしました。

10日 新茶会。香りや味も一味違う

新茶をおいしく頂きました。

18日 アニマルセラピー・ケアセラ

ピー。3年ぶり再開となり、アニマル

セラピーでは犬と触れ合い楽しまし

た。ケアセラピーでは3名の先生方が

ご利用者の手足をマッサージをしてい

ただき、心身ともにリラックスされ癒

されました。

6月

1日 園芸クラブ。今年はミント5

種類の苗をご利用者と一緒に園庭に植

えました。収穫後が楽しみです。

(徳増)

松風園 (軽費老人ホーム)

4月

6日 花見会。今年は桜が例年より長持ちしたこともあり、外は桜吹雪であたたかな機構の中での花見会となりました。松華堂風のお弁当にも、春らしく土筆の天ぷらが添えられ、お好きな飲み物とともに春のひと時を楽しんでいただきました。

5月

10日 いちご摘み。昨年、よくふう保育園の子どもたちがいちご摘みをとでもうれしそうに楽しんでくれたので、ご利用者のみなさんが1年がかりで丹精込めていちごを育て、しっかりと熟したこの日に、ことしも園児のみなさんに来てもらいました。地面に座り込んで、カップに嬉しそうにいちごを入れていく姿に、ご利用者もとてもうれしそうな笑顔となりました。

6月

2日 オニフェス(玉ねぎ収穫祭)。松風園の北側で行われている『未来の暮らし創造塾杉並』の農園事業の一環で、第1回オニフェス(玉ねぎ収穫祭)が開催されました。毎週金曜日の農作業で育てられた玉ねぎを、利用者の皆様と掘り起こし、辛みも少なくシャキシャキとした食感を楽しませていただきました。

(藤原)

浴風会ケアハウス

4月

5日 お花見弁当。春らしく彩の良
いお弁当でした。

5月

2日 端午の節句では、昼食にかつ
おのたたきの特別メニューをおかわり
自由でご用意しました。

15日 新茶会を開催。新茶と抹茶大
福をご用意し大変好評でした。

30日 食堂グリーンカーテン準備。
今年はきゅうりでグリーンカーテンを
作ります。

31日 開園記念は御祝膳で、27周年
の節目を乾杯しました。

6月
16日 コロナ禍で休止していた「や
さしいヨガ」を再開しました。(尾滝)

【お知らせ】

◆ご来園時はマスク着用をお願いして
います

ケアハウスは高齢者の集団生活の場
であり、マスク着用のご協力をお願い
しています。

◆入居説明会の受付について

感染症が流行しており、上半期の開
催は見送りました。下半期については、
決まり次第ホームページや当会誌にて
お知らせいたします。

【介護保険事業】

南陽園(特別養護老人ホーム)

4月

3日 新入介護職員4名を迎え、当
初は緊張している面持ちでしたが、今
では徐々に慣れていき、ご利用者と笑
顔で接しながら1人前の介護士を目指
し頑張っています。

5月

1～7日 菖蒲湯を行い、ご利用者
には菖蒲の香りを嗅いで春の季節を感
じて頂けたのではないかと思います。

5日 端午の節句で柏餅をお配りし
ました。

21日 新茶の会
を催し、職員扮す
る茶娘から新茶と
和菓子が振舞われ、
新茶の香りを楽し
んで頂きました。



6月

1日 当園52回目の開園記念日とし
た。半世紀以上継続できたのは、何よ
りもご利用者、ご家族の皆様をはじめ、
地域の皆様・関係機関各位のご支
援・ご理解のおかげと深く感謝いたし
ます。

18日 「フルーツバイキング」を行
いました。綺麗に飾られた色とりどりの
フルーツの盛り合わせの中からお好
きな物を選んで頂きました。(宮岡)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

4月

28日 お天気が良く園内散歩に出
かけました。偶然中庭の池でカルガ
モの親子にも遭遇！ヨチヨチ歩く子
ガモの姿に「かわいい！」と皆さん
釘付けでした。

5月

10日 体操やゲーム、音楽など毎
日様々なプログラムに取り組まれて
います。この日は足で蹴るボーリン
グ。実習生も加わってとても賑やか
な一日となりました。

6月

7日 一足早く七夕飾りを作りま
した。千代紙を張った筒に色とりど
りの「吹き流し」と「ぼんぼり」を
付けて完成です。画用紙を丸く切つ
たり、お花紙を
広げたり、細か
い作業がありま
したが、とても
素敵に出来上が
りました。



※デイサービスご利用を検討中の方
は、ぜひお気軽にお問合せ下さい。
見学も随時お受けしております。
電話03-3334-2743

(扇野)

第二南陽園(特別養護老人ホーム)

4月

19日 クッキング
★カフェにて、
「芋饅頭&春キャ
ベツのお好み焼き」
を作りました。

5月

3～5日 各フロアにて菖蒲湯を
行い、菖蒲を浴槽に浮かべ、無病息
災を祈りました。

24日 クッキング
★カフェにて、
「そら豆ケーキ&そ
ら豆スコーン&桃
のカルピスティール」
を作りました。

6月
5日 各フロアにてフルーツバ
イキングを実施しました。皆様、フ
ルーツ盛りを見て喜ばれ、季節の果
物を選んだりされ、大変好評でした。

6月

21日 クッキング
★カフェにて「塩
レモン焼きそば」
を作りました。



(工藤)

第三南陽園(特別養護老人ホーム)

4 月

1 日 開園記念日。第三南陽園はご利用者、ご家族、そして地域の皆さまに支えられ21周年を迎えることができました。当日は毎年恒例の紅白饅頭を用意させていただき、ご利用者と共にお祝いをさせていただきました。

5 月

3～5 日 菖蒲湯。今年は高知県の菖蒲を使用しました。今年の菖蒲は香りが強く、皆さまいつもより長めに入浴され菖蒲湯をお楽しみいただき、良い厄払いとなりました。

14 日 新茶の会。毎年恒例の職員による茶娘が登場し、ご利用者の皆さまに新茶を振舞いました。新茶の新鮮さを味わいつつ、新緑の季節を皆さま楽しまれました。



6 月

22 日 フルーツバイキング。毎年ご利用者の皆さまから好評のフルーツバイキングを今年も開催しました。事前にご利用者から希望を伺ったうえ、季節のフルーツを召し上がりました。その美味しさに笑顔溢れるひと時を過ごされました。(佐々木)

グループホームひまわり

4 月

1 日 グループホームひまわりは開設21年目を迎えました。ご利用者の皆様と一緒に、豪華なお花見弁当と紅白饅頭でお祝いをしました。

5 月

3～5 日 菖蒲湯に入られ無病息災を願いました。

5 日 鯉のぼりの飾りを作り、おやつにはかしわ餅を召し上がり、皆さんで端午の節句をお祝いしました。

14 日 母の日にはご家族からお花やメッセージカードなど沢山のプレゼントが届きました。「綺麗ね!」「嬉しいわね!」と皆様とても喜ばれていました。

25 日 毎年恒例の、テラスの畑で育てた玉ねぎの収穫を行いました。昨年12月に三〇〇球の苗を植え、今年も立派な玉ねぎが沢山実りました。ご利用者全員参加で、「よいしょ!」「それー!」と皆様元気に玉ねぎを収穫されていきました。収穫した玉ねぎは、毎日のお料理に活用しています。

6 月

13・14 日 らっきよう漬けを行いました。泥を落として根っこを切り、皮を剥く下準備を、皆様手慣れた手つきで行われました。(阿部)



【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24 高井戸 4 月

11 日 たすけあいネット地域連携
13 日 きずなサロン「かりん」
17 日 認知症業務説明会
18 日 業務説明会

5 月

8 日 新人職員研修
9 日 たすけあいネット地域連携
10 日 上高井戸端定例会
11 日 きずなサロン「かりん」
26 日 だれでもロビーカフェ OPEN
29 日 認知症サポーター養成講座

6 月

8 日 きずなサロン「かりん」
13 日 たすけあいネット地域連携
14 日 高井戸端総会
15 日 医療職南ブロック連絡会
20 日 チームオレンジ
23 日 だれでもロビーカフェ
29 日 地域交流おしゃべり会

よくふう保育園

5 月 法人内施設ご利用者との交流
6 月 しゃくとり虫発見
7 月 じゃが芋掘り (黄地)



【病院事業】

浴風会病院

★区民健康診査

区民健康診査が始まっています。杉並区、世田谷区、中野区にお住まいの方が対象となります。

ご予約はお電話で、月曜～金曜(祝日を除く)午後2時から午後5時まで。予約電話 03・5941・6930 皆様のご予約をお待ちしております。

★コロナ後に向けて

当院の新型コロナウイルス対策につきましては、5月に5類感染症という「風しん」や「麻疹(はしか)」と同じ分類に変更がされたことに伴い、順次対策内容を変更しております。

しかしながら、「館内での不織布マスクの着用」や「入院患者様への面会制限」等、まだまだご協力いただくことも多くあります。ご不便をおかけしますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。



(多胡)

老健くめぎ (介護老人保健施設)

4 月

今年は早く桜が咲き始め、天候も悪かった為ご利用者の皆さんが桜を楽しむ期間が短くなってしまいました。さくら御膳にて春を楽しみました。

5 月

ご利用者が塗り絵をして表紙にした手作りのお絵描き帳を保育園児にプレゼントしました。後日、子供たちから直接、しおりのお返しを頂く機会がありました。ずっとコロナウイルスにより接触を控えていたので、子供たちとの触れ合いに、ご利用者は終始、笑顔が溢れていました。

6 月

新茶の会では、法被を着た職員とお茶娘が新茶をふるまいました。日頃、なかなか水分を摂取してくれないご利用者も「新茶は美味しい」と進んで2杯飲まれる姿も見られました。(森屋)



【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

4 月

10 日 運営会議 (Zoom)

13 日 内部研修 (厚生行政研修)

15 日 「認知症三昧! 山口塾 final」

(Zoom ウェビナー) 380 名参加

5 月

8 日 運営会議 (Zoom)

24 日 内部研修 (基礎研修)

29 日 6 月 9 日 第 1 回認知症介護

指導者養成研修 (前期) 15 名参加

6 月

12 日 運営会議 (Zoom)

16 日 内部研修 (基礎研修)

22 日 運営協議会・評価委員会

26 日 認知症介護実践者等養成事業

行政担当者連絡会 (橋)

計報

元当会監事 (弁護士) の多久島耕治様には、去る 6 月 1 日、88 歳にてご逝去なされました。多久島様には、平成 12 年 6 月より、約 21 年に亘って当会監事をお務めいただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

第 18 回職員実践・研究発表

演題紹介!!

開催日: 令和 5 年 4 月 26 日
会 場: 認知症介護研究・研修東京センター

最優秀賞



・手作り布マスクとお手玉からつながる地域の輪

～心の距離が縮まる中で見えてきた施設が果たす役割～
南陽園 機能訓練指導員 高井 知貴
地域連携担当ケアワーカー 山口 春美



優秀賞



・楽しく入浴して頂く為の工夫～「入る入浴」から「入りたい入浴」へ～

浴風園 ケアワーカー 板井 英子
植松 尚美



- ・「キラリ・ホット」を活かし、
ご利用者の生活に対する満足度を高めた研究
第三南陽園 ケアワーカー 熊本 薫
清水 秀則
- ・在宅復帰を希望するご利用者に対する
特別養護老人ホームにおけるチームケアマネジメント
第二南陽園 ケアワーカー 佐藤 多栄子
生活相談員 落合 寿和
- ・報告・松風園と新型コロナ～自立型施設へのコロナ禍の影響～
松風園 ケアワーカー 莊 安孝
看護師 矢後 朝子

最優秀賞受賞者の発表要旨は本誌秋季号に掲載予定です。

御礼

元南陽園ご利用者故関係様のご遺志により、南陽園でエアマット 15 枚を購入させていただきました。故関係様に深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



ご芳志

令和 5 年 2 月から 6 月

多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございます。

〈金品・物品〉

関ふじ様、立正佼成会様

ほか、各施設にもいただいております。

《次回は発行予定令和 5 年 10 月秋季号》
〒168-8510 ※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
soumu2@yokufukai.or.jp
https://www.yokufukai.or.jp/